

FUNERAL INFORMATION®

千代田セレモニー

Ceremony

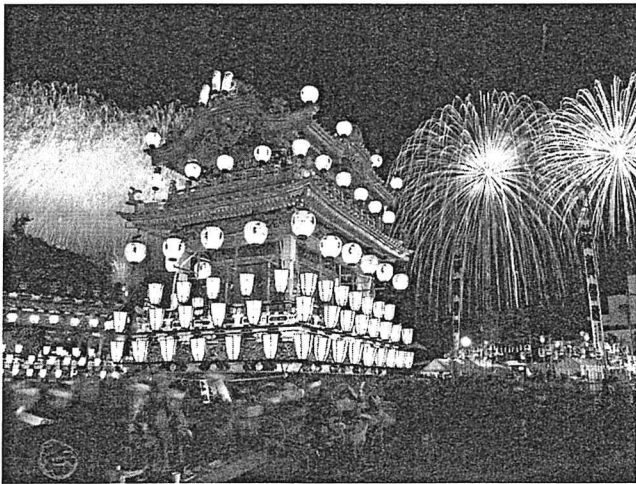
本部 ☎ 03 - 5837 - 3451

相模原 ☎ 042 - 753 - 2321

2021
December 12

24時間いつでもお電話下さい、葬儀に関するすべてのご相談に応じます。

この情報紙に記載されている内容に関しましては、地域の習慣・風習などにより異なる場合があります



秩父夜祭

埼玉県秩父市

日本を代表する冬のまつりのひとつに、埼玉県秩父市でおこなわれる「秩父夜祭」があります。夜空に花火が上がり、豪華絢爛な笠鉦と屋台が巡行するまつりは、地元の人だけでなく、全国のまつり好きにも愛されています。

秩父夜祭が始まったのは、江戸時代の寛文年間(1661-72年)といわれ、300年以上の歴史を持っています。養蚕が盛んで絹の産地だった秩父では夜祭の日に絹市が立ち、「お蚕まつり」の名でも呼ばれました。そして、夜祭の起源には、こんな神話も残されています。

秩父神社に祀られる妙見菩薩は、武甲山にすむ男の神と相思相愛の仲でした。しかし、武甲山の神には正妻がいたため、思うように会うことはできません。一年に一度だけ、逢瀬を許された日に、妙見菩薩が武甲山に出向く神事がこの夜祭なのだとか。

そのため、笠鉦と屋台の巡行も、武甲山の神の正妻が祀られる諏訪社の近くを通る時だけは、にぎやかな屋台囃子を控えます。確かに、正妻からすれば愉快的日ではないでしょうから…。そんな言い伝えを知ると、まつりの見方も違ってきそうです。

もちろんこの言い伝えを知らなくても、秩父夜祭には多くの見どころがあります。12月2日の宵宮、翌3日の大祭で巡行する笠鉦と屋台の華やかさ。屋台の上で繰り広げられる屋台歌舞伎と踊り。そして、冬の澄んだ夜空に大輪を咲かせる花火など。

秩父夜祭は、日本三大曳山祭、日本三大美祭のひとつにも数えられています。残念ながら2020年はコロナ禍で花火が中止、笠鉦・屋台の巡行も縮小されました。今年も同様の対策が取られるかもしれませんが、一生に一度は見てみたいまつりです。

日本三大曳山祭

秩父夜祭のほか、岐阜の高山祭(4月・10月)、京都の祇園祭(7月)が日本三大曳山祭とされています。曳山とは、いわゆる山車のこと、形状や装飾は地域ごとに特色があります。特に華やかな曳山が巡行するこの3つのまつりは、日本三大美祭とも呼ばれています。



一度は行きたい 神社仏閣巡り

第12回

浅草寺

訪れた人にしか分からない、厳かで神聖な空気感…。誰もが一度は行ってみたいと思う「神社仏閣」をご紹介します。心洗われる歴史、心癒される自然、そしてその地にゆかりの深い名産品などを知って、まずはここで旅気分を味わってみませんか。第12回目は東京・浅草を代表する観光スポット「浅草寺」。1400年もの歴史を誇る「浅草寺」は東京都内最古のお寺でもあります。「雷門」と書かれたシンボリックな赤い大提灯をはじめ、参道の両側には長さ約250mにわたって店舗が並ぶ「仲見世」など見所満載。東京の顔といっても過言ではない人気の観光名所「浅草寺」の魅力にぜひ、触れてみてください。

●「浅草寺」のはじまり

「浅草寺」の歴史は飛鳥時代、西暦628年にさかのぼります。地元の漁師であった兄弟が宮戸川(現 隅田川)で漁をしていた時、投網に一鉢の仏像がかかったのです。二人はその仏像を引き上げると、地元の有力者である土師中知の元へと届けました。すると、土師中知は私宅をお寺に改してこの仏像を祀り、礼拝供養に生涯を捧げました。そのお寺が「浅草寺」のはじまりであるといわれています。その後は源頼朝や足利尊氏、徳川幕府の祈祷所としても繁栄。人々の信仰を厚く受け、長年愛され続けている「浅草寺」は、東京人の心の故郷とも呼ばれています。

●浅草寺の絵門「雷門」

浅草駅を出るとまず目に入ってくるのが「雷門」と書かれたお馴染みの赤い大提灯。この「雷門」の正式名称は「風雷神門」といい、その名のとおり風雨を司る神である風神と雷神が提灯

の左右に奉安されています。風水害や火災からの除難はもちろん、五穀豊穡の祈りが込められています。なぜ「風雷神門」が「雷門」と呼ばれるようになったかは不明ですが、文化年間の頃の川柳に「風の神、雷門に居候」という句があり、その頃には「雷門」という名称が一般的になっていたようです。また、門の裏側にも水を司る龍神および天龍と金龍の像が安置されており、こちらも迫力満点です。

●浅草名物「仲見世」

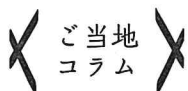
「仲見世」は下町風情が漂う雷門から本堂へと繋がる長さ約250mの表参道。ここは日本で最も古いとされる商店街のひとつであり、通りの両側には伝統工芸品や浅草名物のグルメ、お土産物などのお店が軒を連ねています。普通に歩けば3分ほどの距離ですが、魅力的なお店が建ち並んでいるので、つい寄り道しながら歩いてしまい、なかなか本堂に辿り着けません。なお「仲見世」では食べ歩きは禁止ですので、購入したらすぐにお店の前でいただきます。

●威厳ある「宝蔵門」

賑わいを見せる仲見世を抜けると正面に現れるのが、小舟町の大提灯がかけられた楼門「宝蔵門」。威厳ある朱塗りの門の左右に仁王像が祀られていることから、かつては「仁王門」という名前で呼ばれていました。1945年の空襲により焼失し、その後再建され現在の姿に。その時に門の上部二層を什宝物の収蔵庫としたことから「宝蔵門」と改名されました。さらに、門の裏側には浅草名物のひとつである「大わらじ」がかけられています。「宝蔵門」をくぐったらぜひ振り向いて確認してみてください。

●美しく肅粛とした「本堂」

宝蔵門を通り過ぎると、入母屋造りの大屋根が美しい浅草寺の「本堂」が姿を現します。「本堂」の前にはもくもくと煙の上がる香炉があり、まずはここで心と体を清めましょう。調子の悪いところに煙をあてれば、きっとご利益があるはず。正面に掛かる「志ん橋」の大提灯、天井まで約10mの高さを誇る開放的な外陣は圧巻です。さらに、厳かな雰囲気の内陣へと足を進めれば中央の御宮殿には「秘仏」のご本尊聖観世音菩薩、ご本尊の身代わりである「御前立ご本尊」が安置されています。真摯な祈りの空間で観音様のご慈悲を身近に感じてください。



ご当地
コラム

～「凶」が多い浅草寺のおみくじ～

「何回引いても凶が出る」といわれるほど、浅草寺のおみくじに「凶」が多いことは有名です。多くの神社仏閣では「凶」が多いと参拝者がおみくじを引かなくなるという理由から、徐々に「吉」の配分を増やしたそう。しかし、浅草寺は今も昔も配分を変えていないため、他に比べて「凶」が出る確率が高いというわけです。「凶=強」の考え方もあるので「凶」を引いたら強運ともいわれています。日本一「凶」が多いとされる浅草寺のおみくじで運試しなんていかがですか。

くらしのなかで 脳トレに チャレンジ!



おじい
ちゃん

定年退職をきっかけに、心身の健康づくりに目覚めた65歳。最近は脳トレに一生懸命。



あかり
ちゃん

小学6年生の元気な女の子。ちょっと口うるさいけれど、おじいちゃんのこと大好き。

【クロスワードを作ってみよう】



う〜ん…。



おじいちゃん、何やってるの？クロスワードパズル？



クロスワードを解いているんじゃないかと、作っているんだよ。解くのもいいけど、作るのもっと頭を使うね。



へえ、自分で作ってるんだ。見せて、見せて。



ああ、いいけど。初めて作ったんだから、あんまり文句は言わないでくれよ。



何これ？食べ物が多いね。



そうだよ。何かテーマを決めると、もっと脳トレになるんだ。アンコモチからスタートして、今食べたいものを並べようとしたんだけど、これが難しくてね。



「ワタニ」って何？



魚のアラを煮た料理だよ。昔の人は食べ物を大切にしていたから、うちでもよく食べたよ。



じゃあ、「メツキ」って？



メツキだよ。ギンガメアジという魚の小さい頃の呼び名だね。寒くなるとおいしいからって、昔はよく煮魚で出されたなあ。



その下の「ニン」は？



そう！そこなんだよ！モツニコミの「ニ」とチキンの「ン」で、アンニンドウフの「ニン」はどうかかなと思ったんだけど…。ニン（仁）っていうのは、アンズのタネの中にある部分だよ。



おじいちゃん、さすがにそれはちょっと無理があるんじゃないかな？



そうだよな。だったら、モツニコミかチキンか、どちらかを別の食べ物にしないと。



私もいっしょに考えてあげるよ。何かルールはあるの？



ああ、4つの角には文字を必ず入れることと、塗りつぶしのマスはタテヨコで連続して並べないようにすることぐらいかな。



なるほどね。じゃあ、今度はおじいちゃんが今行きたいところで作ってみようよ。行きたいところはある？



そうだな。まずは、「オンセン」だな。



え〜！「ン」が入ると、並べるのが難しくなりそうだけど…。

ア	ン	コ	モ	チ
ワ		メ	ツ	キ
ビ	ワ		ニ	ン
	タ	ラ	コ	
カ	ニ		ミ	ソ

世界を変える 最新技術

1万年の計算を3分20秒に短縮?! - 量子コンピューター -

「コンピューターってすごいなあ」と思われることの多い日々。職場に家庭にと、あらゆる場面で接している、もなかった頃には戻れない便利な機械。しかし、「今」のコンピューターは、家庭用であれスーパーコンピューターであれ「classic computer」= 古典コンピューターと呼ばれる類のものとなりました。2019年にGoogleの研究者チームがスパコンで1万年かかる計算を3分20秒で終わらせたという論文を発表したように、「量子コンピューター」はスパコンの比ではない高い計算力を持つことで大注目される新技術です。

従来のコンピューターでは、情報の最小単位は「ビット」で、0か1かで表されます。それぞれのビットが、コインの裏か表かどちらかの状態であると考えましょう。

一方、量子コンピューターの最小単位である「量子ビット」では、0か1、そしてさらに0と1を重ね合わせた状態も表すことができます。これはコインが回転していて表でも裏でもある状態に例えられます。また、ビットが相互

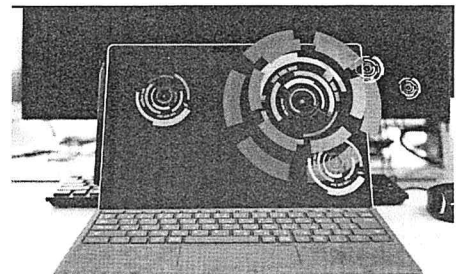
関係を持つ「量子もつれ」を利用することで、複数の量子ビット（情報）を同時に操作することができます。

この「重ね合わせ」と「量子もつれ」という二つの性質を利用して計算をすることで、計算処理のステップが大幅に減り、はやく解を求めることができるのです。

まだ量子コンピューターは開発途上で、実用段階にはありません。量子ビットは壊れやすく、現在では量子ビットの数は50個程度のもの。幅広い計算に利用できるようにするには、これを100万や1億に増やす必要がありますが、IBMが2023年中に10000量子ビット、Googleが2029年に100万量子ビットコンピューターを開発する計画を公表しています。

実用化されれば、様々な分野で活用されることが見込まれますが、中でも、無数にある種類の分子の組み合わせである化学品、材料の分野での開発に期待が寄せられています。

実は、世界で初めて量子ビットの製造に成功したのは日本企業のNEC。日本も近年、量子コンピューターの開発に力を入れています。ぜひ、この分野でも日本の開発力、その底力を見せて欲しいものです。





終活で、葬儀の準備。

終活の一環として、葬儀の準備についてもきちんと考えておくことは大切です。多くの人と賑やかに別れをしたいのか、それとも家族だけにひっそりと見送ってもらいたいのかなど、まずはどのような葬儀スタイルにしたいのかをしっかりと考えましょう。また、前もってどの葬儀社にお願いするのも決めておけば、葬儀準備はスムーズに進められます。

事前に葬儀費用の相談。

葬儀社と葬儀の内容が決まっていれば、必要な金額も大体決まってきます。葬儀に必要な費用は口座を別にするなど、事前に準備をしておきましょう。もし、まだ何も決まっていないのであれば、まずは大まかな予算を家族と相談しておくことから始めてみませんか。

終活のひとつ、遺影撮影。

従来、遺影とは故人が亡くなってから家族が準備するのが一般的でした。しかし、最近では終活に対する意識が高まり、ご自身の遺影用の写真を撮影しておこうという人も増えてきました。お気に入りの表情や自分らしさを重視した遺影に大きな関心が寄せられています。生前に遺影の撮影をするのはちょっと…と思う人もいるかもしれませんが、葬儀時の家族の負担軽減にも繋がるのでぜひ準備しておきたいものです。

エンディングノートの活用。

エンディングノートとは故人の考えや希望、必要な情報を家族に伝えるためのノートです。残された家族が迷いなく判断や手続きを進めるためにも、内容は誰が見ても理解できるようわかりやすく書き記しましょう。葬儀内容や葬儀社、遺影などが決まったらまずはエンディングノートに書いてみてください。また、前もって家族に見せておくことも、さらに大きな安心につながります。



もっと活用し、もっと広げたい言葉 — Mottainai —

「こら！もったいない！」子どもの頃こんな風に叱られた経験、誰しも一度や二度ならずあるはず。

報道でも大きく取り上げられていたので、皆さんもうご存知でしょう。「Mottainai」は、ワンガリ・マータイ氏により世界に広げられた言葉です。

ワンガリ氏はケニア出身の環境保護活動家。農家の娘として生まれ、アフリカ女性として史上初のノーベル平和賞を受賞、そしてナイロビ大学初の女性教授でもある人物です。

ワンガリ氏が「Mottainai」の言葉に出会ったのは、ノーベル平和賞を受賞した翌年の2005年。2月に京都議定書の関連行事に出席するために来日した時のことです。その翌月の国連女性地位委員会ではすでに出席者全員で「Mottainai」の唱和をしており、早速「Mottainaiキャンペーン」が始まりました。「Mottainai」の言葉とともに、様々な機会に日本人の知恵と精神を精力的に紹介してくれたワンガリ氏は2011年に卵巣癌で死去。「木を切らないで」という偉大な環境活動家の遺言どおり、国葬は小枝などを使った棺で行われました。

我々人類の生存基盤に関わる根源的な問題として深刻さを増す環境問題。ごく普通の暮らしの中で語られてきた「Mottainai」の精神を、私たち日本人こそが失ってははいないか、生活のレベルで、そして大きな地球規模のレベルで、今一度真剣に考えてみる必要があるのかもしれない。

